



平成28年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月7日

東・名

上場会社名 オーエスジー株式会社

上場取引所

コード番号 6136

URL <http://www.osg-ir.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石川 則男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 園部 幸司

(TEL) 0533-82-1113

四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第1四半期の連結業績 (平成27年12月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第1四半期	25,814	△3.2	4,791	△1.3	4,478	△6.1	2,705	△3.5
27年11月期第1四半期	26,665	12.7	4,854	46.3	4,769	40.0	2,803	48.7

(注) 包括利益 28年11月期第1四半期 △4,520百万円(-%) 27年11月期第1四半期 2,927百万円(△51.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第1四半期	28.63	26.12
27年11月期第1四半期	29.52	26.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年11月期第1四半期	149,179	103,613	62.9
27年11月期	155,129	113,637	66.1

(参考) 自己資本 28年11月期第1四半期 93,849百万円 27年11月期 102,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	26.00	—	20.00	46.00
28年11月期	—				
28年11月期(予想)		22.00	—	28.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想 (平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	1.4	10,600	△3.8	10,600	△3.4	6,300	△4.8	66.67
通期	117,000	4.5	23,000	6.5	23,000	6.9	14,000	11.8	148.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年11月期1Q	95,955,226株	27年11月期	95,955,226株
② 期末自己株式数	28年11月期1Q	2,604,684株	27年11月期	908,970株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年11月期1Q	94,495,086株	27年11月期1Q	94,957,411株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
 ・当社は四半期決算補足説明資料を作成しており、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(4) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米を中心とした先進国がけん引役となり緩やかな成長が続きましたが、中国経済の減速及び地政学リスクの高まり等により先行き不透明感が増大しました。米国は個人消費が引き続き拡大を維持し堅調に推移しました。欧州はイギリス、ドイツ、フランス等主要国での消費を中心に緩やかな回復傾向を維持しました。中国をはじめとするアジアの新興国は、以前の高い伸びと比べて鈍化したものの一定の成長を持続しました。一方、国内においては、依然として個人消費の低迷は続き、円高進行及び中国経済の減速の影響等もあり不透明感が強まりました。

当社グループにおいては、引き続き販売網や物流拠点の拡充を図るとともに、超硬製品の生産能力の増強に努めました。日本及び欧州での需要は堅調に推移したものの中国経済減速等の影響もあり海外需要は低調となり伸び悩みました。航空機関連産業向け需要は総じて堅調に推移しましたが、主要ユーザーである自動車関連産業向けは日本及び欧州を除く地域では総じて低調となりました。製品別売上では超硬エンドミルは増加しましたが、主力のタップは減少しました。また海外売上高比率は為替変動による換算の影響もあり56.0%（前年同期は59.0%）と減少しました。営業利益は、欧州を除く各セグメントでの業績が総じて低調となったことに加えて、円高進行に起因する輸出採算性の低下や換算の影響もあり前年同期と比較して減少しました。

以上の結果、売上高は258億1千4百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は47億9千1百万円（前年同期比1.3%減）、経常利益は44億7千8百万円（前年同期比6.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億5百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に為替変動による換算の影響により、現金及び預金、受取手形及び売掛金、機械装置及び運搬具（純額）等が減少したことから、前連結会計年度末（以下、「前期末」という）と比較して59億5千万円減少し、1,491億7千9百万円となりました。

一方、負債は未払法人税等、賞与支払により未払費用等が減少しましたが、短期借入金、長期借入金等の増加により、前期末と比較して40億7千4百万円増加し、455億6千6百万円となりました。

また、純資産は自己株式の増加及び為替換算調整勘定の減少等により、前期末と比較して100億2千4百万円減少し、1,036億1千3百万円となりました。この結果、自己資本比率は62.9%（前期末は66.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については、平成28年1月12日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,472	19,190
受取手形及び売掛金	21,519	20,060
有価証券	78	67
商品及び製品	19,292	19,555
仕掛品	5,297	5,418
原材料及び貯蔵品	6,083	5,696
その他	5,137	6,187
貸倒引当金	△188	△177
流動資産合計	78,692	75,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,651	16,024
機械装置及び運搬具(純額)	27,428	25,757
土地	15,107	14,397
その他(純額)	4,088	5,002
有形固定資産合計	63,276	61,181
無形固定資産		
のれん	532	1,367
その他	721	736
無形固定資産合計	1,254	2,104
投資その他の資産		
投資有価証券	7,239	5,800
その他	5,078	4,514
貸倒引当金	△411	△420
投資その他の資産合計	11,906	9,894
固定資産合計	76,437	73,181
資産合計	155,129	149,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,980	4,573
短期借入金	4,052	11,079
1年内返済予定の長期借入金	445	529
未払法人税等	3,486	1,564
賞与引当金	395	1,321
役員賞与引当金	637	182
その他	9,517	6,427
流動負債合計	23,515	25,677

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	14,850	14,850
長期借入金	847	2,837
役員退職慰労引当金	50	56
退職給付に係る負債	244	290
その他	1,984	1,854
固定負債合計	17,976	19,888
負債合計	41,491	45,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,404	10,404
資本剰余金	12,090	12,090
利益剰余金	75,719	76,398
自己株式	△1,104	△4,326
株主資本合計	97,109	94,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,709	1,770
繰延ヘッジ損益	2	127
為替換算調整勘定	2,745	△2,615
その他の包括利益累計額合計	5,456	△717
非支配株主持分	11,071	9,763
純資産合計	113,637	103,613
負債純資産合計	155,129	149,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
売上高	26,665	25,814
売上原価	14,899	14,153
売上総利益	11,765	11,660
販売費及び一般管理費	6,911	6,869
営業利益	4,854	4,791
営業外収益		
受取利息	61	50
受取配当金	26	36
固定資産売却益	9	82
その他	237	160
営業外収益合計	334	329
営業外費用		
支払利息	34	29
売上割引	184	161
為替差損	128	372
その他	72	79
営業外費用合計	420	642
経常利益	4,769	4,478
税金等調整前四半期純利益	4,769	4,478
法人税、住民税及び事業税	1,838	1,352
法人税等調整額	△208	103
法人税等合計	1,630	1,456
四半期純利益	3,139	3,022
非支配株主に帰属する四半期純利益	336	316
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,803	2,705

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	3,139	3,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	586	△940
繰延ヘッジ損益	—	125
為替換算調整勘定	△803	△6,722
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△6
その他の包括利益合計	△212	△7,543
四半期包括利益	2,927	△4,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,517	△3,487
非支配株主に係る四半期包括利益	409	△1,033

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年1月20日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること及びその方法について決議し、当該決議に基づき自己株式を取得いたしました。これを主な要因として、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が3,221百万円増加しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、DESRANGES OUTILS COUPANTS S.A.等5社を重要性が増したため連結の範囲に含めたこと及び従来連結子会社であった上海富点五金工具有限公司について出資持分を一部売却したことにより、持分比率が低下したため連結の範囲から除外した結果、期首の利益剰余金が125百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,169	5,388	2,730	7,377	26,665	—	26,665
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,662	40	7	547	5,257	△5,257	—
計	15,831	5,428	2,738	7,925	31,923	△5,257	26,665
セグメント利益	2,567	822	290	1,561	5,241	△386	4,854

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、「欧州」セグメントにおいて、WEXO Präzisionswerkzeuge GmbH等4社を重要性が増したため連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は529百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,606	4,805	3,067	6,334	25,814	—	25,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,177	33	9	458	4,679	△4,679	—
計	15,783	4,839	3,076	6,793	30,493	△4,679	25,814
セグメント利益	2,333	711	328	1,178	4,551	239	4,791

(注)1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、「欧州」セグメントにおいて、DESGRANGES HOLDING S.A.S.等3社を重要性が増したため連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は919百万円であります。

(4) 販売の状況

(単位：百万円)

品目別		前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
切削工具	ねじ切り工具	9,339	8,340
	ミーリングカッター	6,043	6,200
	その他切削工具	6,150	6,352
	計	21,534	20,893
転造工具		2,437	2,292
測定工具		367	335
その他	機械	836	1,025
	その他	1,490	1,266
	計	2,327	2,292
合計		26,665	25,814